

1. 令和5年度 法人本部事業報告

(1) 理事会の開催

第1回 理事会 令和5年6月14日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和4年度事業報告
  2. 令和4年度決算
  3. 理事・監事候補者選定
  4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程一部改訂
  5. 評議員選任解任委員選任
  6. 評議員会の日時・場所及び提案議案

第2回 理事会（書面）令和5年6月29日

- 主な議題
1. 理事長選定

第3回 理事会 令和5年11月15日

- 主な議題
1. 経理規程一部改訂
  2. 遊休資産賃貸借契約  
理事長職務執行状況の報告

第4回 理事会 令和6年3月16日

- 主な議題
1. 令和5年度補正予算書
  2. 法人本部 施設 各令和6年度事業計画書
  3. 令和6年度収支予算書
  4. 介護職員処遇改善支援補助金の対応
  5. 給与規則一部改定について（給与支払日変更：支払日が週末等の場合）
  6. 給与規則一部改定について（給与支払日変更：R7年3月以降は翌月15日支払）
  7. 大阪府中小事業者LED照明導入促進補助金・契約
  8. 評議員会日時場所通知 提案議案

(2) 評議員会の開催

第1回 （定時）評議員会 令和5年6月29日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和4年度事業報告
  2. 令和4年度決算
  3. 理事・監事選任
  4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程一部改訂  
理事長職務執行状況の報告

第2回 評議員会 令和6年3月29日

- 主な議案
1. 令和5年度補正予算書
  2. 法人本部 施設 各令和6年度事業計画書
  3. 令和6年度収支予算書

(3) 監事監査の実施 令和5年6月12日

(4) 社会福祉充実計画について

令和5年度の社会福祉充実計画は、職員育成事業と有料老人ホーム改修事業（設備の高機能化及び屋上防水工事）を計画していました。職員育成事業においては家賃補助対象職員が

居なかったため、資格取得奨励者と改修事業を実施しました。なお、改修事業においては、大阪府の中小企業LED照明導入促進補助金を活用し、法人全体の照明をLED化することで省エネを図るとともに視認性を高め、入居者様が日常生活をより快適な環境で過ごしていただけるようになりました。法人全体での改修事業になったため、有料老人ホームの屋上防水は来季以降に持ち越し、令和6年度予定の有料老人ホームの改修事業に包含する形で実施します。

なお、地域公益事業として継続してきた「みんなの食堂」は、法人独自で取り組む地域における公益的な取り組みとして今後も目の前の困っている方に対する支援として継続していきます。

#### (5) 法人全体について

正職員は介護職員2名、サービス提供責任者1名、事務員1名、看護師1名、柔道整復師1名が入職しました。その内介護職員1名が退職しました。令和6年4月着任の新卒採用活動は比較的順調に進み、介護職員6名の採用となりました。派遣職員は2名いましたが、費用対効果を鑑み契約終了しました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止していた福生会盆踊り大会を再開しました。事業所の枠を超えた行事開催により法人全体の一体感が生まれました。

令和6年2月、大阪府の中小企業LED照明導入促進補助金を活用し、LED更新工事を実施しました。

全事業所共通のBCP（大阪府簡易版）を作成し、BCP訓練で職員へ周知しました。来年度以降に事業所ごとに詳細な箇所を確認し毎年少しずつブラッシュアップしていきます。

その他、食材廃棄物の削減への取り組みや制服クリーニングサービスの終了や物品購入に関する発議書の導入などにより経費削減をしました。

#### (6) 有料老人ホーム運営について

令和5年4月から食費の値上げ、令和6年2月から特別食の導入を実施しました。食費に関しては、朝食50円、昼食・夕食は100円ずつ値上げしました。朝食330円、昼食935円、夕食990円、（毎月15日昼）特別食1980円になり、注文数の減少を懸念しましたが、喫食数は前年度より増加する結果となりました。

営業活動に関しては、今まで実施してきた顧客へのアプローチに加え、インターネット広告の新規登録や資料送付後のフォローを行い次年度の入居申し込みへ繋げました。新入居は、7室9名の内2室3名が自宅に戻られる短期解約となってしまいました。短期解約の方からは、レストランの利用時間が決まっていることや、夜間は正面玄関が施錠されること、職員が居室に何度も訪問することなど、施設ならではの制限が自宅と違って住み辛いとの意見がありました。認知症により夜間に外に出てしまい、職員に近くのパス停ですぐに発見されましたが、家族から心配と言われました。介護付き有料老人ホームとして期待される手厚いケアと細やかな気配りに努めてはいますが、一方で、自宅と変わらないご本人のペースとプライバシーも護れるよう工夫します。

#### (7) 社会貢献事業について

毎日型のみんなの食堂は例年通り多くの方にご利用頂きました。必要に応じ食料や衣類等生活支援物資の配布も行いました。新型コロナウイルス感染症の流行で休止していた「ぬくもりカフェふせお」（厚生労働省新オレンジプラン（認知症施策）に基づく堺市の認知症予防対策）と久世校区の子供のための「みんなの食堂in福生会」を再開し、2ヶ月に1度開催しました。クリスマスには地域の子どもたちにプレゼントの配布を行いました。

大阪しあわせネットワーク 総合生活相談（生活困窮者レスキュー事業）の支援活動も相談があれば積極的に受けました。例えば、他市に転居したが年度末まで久世小学校に通学する子どもが困っていると相談があり、放課後から母親が迎えにくる19時頃まで、居場所と夕食の提供を行いました。

地域でも、社会貢献活動に関する対面での会議が再開し積極的に参加しました。堺市7区合同連絡会では、各区のコミュニティソーシャルワーカーや社協、民生委員等が集い情報交換を行いました。中区子ども食堂ネットワーク” つつぼし “の会議では、地域ニーズの把握のため情報共有しました。

## 2. 各施設事業運営状況

今年度は新型コロナウイルスが令和5年5月8日に5類感染症になったことで、社会生活における感染対策の認識と、ご入居者様の安心安全を第一に考える施設内における感染対策の認識が大きく乖離したことでの対応に苦慮しました。その意味において新型コロナウイルス発生時より全職員に求められた利用者の生活や提供するサービス、家族支援等に対するきめ細かな対応は継続することとなりました。

当法人では介護老人福祉施設、短期入所については平成29年より閉鎖しているエリアの稼働が目下の課題であります。今年度において再開することが出来ず、来年度に持ち越しとなりました。

通所介護においては福生園特定利用者へのサービス委託量の減少等の理由により当初計画通りの稼働率を確保できず、安定的な稼働に課題が残っています。訪問介護については、きめ細やかなサービスを実施するため1回あたりの訪問時間を細分化し、サービス面及び稼働面において改善しています。

居宅介護支援はケアマネ1人あたりの平均件数が40.5件となり、稼働において改善しています。

養護老人ホーム福生園は、地域のセーフティネットの役割を果たし、緊急一時入所を積極的に受けるようにしています。南区から3名、中区・堺区・東区から1名ずつ緊急で受け入れました。8名入所され、9名が廃止・退所されました。入居率の低下傾向が続いています。要介護状況も重度化し2名特養への移動、入院が発生しています。今後も緊急の相談は断らず受け入れることで役所との信頼関係を構築していきたいと思えます。

有料老人ホームは、新入居は7室9名に対し、退居が5室8名となり、稼働面で若干改善しています。

運営面で収支が採算ベースを割り込む事業が従前より経営を圧迫している課題がありました。稼働率の上昇や経費の見直しにより改善の兆しは有りますが、依然として営業収支差額が採算ベースを割り込んでいる事業もあり、早急かつ抜本的な改善方針の見直しについて検討を要する事業所も有ります。これは次年度の大きな課題であり、最善の方法を検討する必要があります。